

「不器用な子どもたちを不幸に追い込まないために
～発達障害と非行、その予防と支援～」

講師：京都ノートルダム女子大学教授・元家庭裁判所調査官

藤川 洋子 先生

日 時：平成24年3月11日(日) 13:00～16:00(休憩を含む)

会 場：岡山ふれあいセンター 大ホール(定員336名)
岡山市中区桑野 715-12

参加費：会員 500円 一般 2000円

藤川先生は、家庭裁判所調査官として非行少年の更生に長く携わってこられました。現在も当事者や保護者の支援、発達障害についての研究や啓蒙活動をされています。

近年、発達障害の人(子)たちによる悲しい事件がたびたび報じられています。当事者による触法行為は、幼児期や学校時代における家庭や周りの人の不適切な対応と無関係ではありません。こういった問題を予防するにはどのような支援が必要なのか。また、不幸にも触法行為を起こしてしまった場合にはどのように対応すればよいのか。保護者だけでなく学校や地域、職場など周囲の大人たちが何をなすべきかについてあらためて考える機会になればと願っています。

発達障害児・者に関わる様々な立場や職域の皆さまのご参加をお待ちしています。

講師紹介 藤川 洋子(ふじかわ ようこ)先生

- ・京都ノートルダム女子大学心理学部心理学科教授、同心理臨床センター長
- ・臨床心理士
- ・大阪大学文学部哲学科(心理学専攻)卒業。家庭裁判所調査官として大阪、京都、名古屋、東京などの家裁勤務を経て、2006年春大阪家裁総括主任調査官を辞し、現職。東京大学医学部客員研究員。
- ・1987年神戸大学医学部精神科に内地留学。1999年アスペルガー障害と犯罪特性に関するわが国初の研究を実施。2007年より国立青少年教育振興機構の企画協力や、矯正施設での治療的面接に従事。

<主な著書>

- ・「非行と広汎性発達障害」(日本評論社2010)
- ・「触法発達障害者への複合的支援 - 司法・福祉・心理・医学による連携」(福村出版2011.12) 他多数

主 催：NPO法人 岡山県自閉症協会
共 催：おかやま発達障害者支援センター
後 援：岡山県、岡山県臨床心理士会
岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、倉敷市、倉敷市教育委員会、
津山市教育委員会(以上 申請中)

毎年4月2日は、国連が定めた「世界自閉症啓発デー」です。

